

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和4年6月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m³以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:97)
2. 調査実施時期 令和4年6月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
4. 企業判断指数の算出方法
[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)
5. 調査結果(回答工場数:87社 / 回答率:89.7%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12
R3.9	-35	<i>-43</i>	<i>-41</i>	-	-	-
R3.12	-	-53	<i>-51</i>	<i>-56</i>	-	-
R4.3	-	-	-45	<i>-54</i>	<i>-56</i>	-
R4.6	-	-	-	-15	<i>-33</i>	<i>-50</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12
当年	147,619	135,152	159,675	-	-	-
(前年)	195,021	148,160	144,450	134,141	147,619	135,152
対前年比	76%	91%	111%	-	-	-

(概況)

原木在庫量は前年を上回る状況。合板需要が落ち着きだしたとの声もあるものの、夏以降は前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

合板向けが一息つき、調達しやすい見込み/当面の原木不足は解消/ストックはあるが秋までに仕入れないと厳しい/品質が悪い/高値で入荷なし/集材量は前年より落ちると予想/トドはカラよりも安定している

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12
R3.9	78	<i>64</i>	<i>25</i>	-	-	-
R3.12	-	64	<i>44</i>	<i>15</i>	-	-
R4.3	-	-	35	<i>26</i>	<i>5</i>	-
R4.6	-	-	-	21	<i>14</i>	<i>-10</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12
当年	231,240	249,282	209,572	-	-	-
(前年)	176,723	192,692	187,454	217,936	231,240	249,282
対前年比	131%	129%	112%	-	-	-

(概況)

原木消費量は引き続き前年を上回る状況。生産順調も、資材高騰や輸入材入荷により夏以降の受注減を懸念する声がある。

(回答企業の主なコメント)

荷動き順調で、生産追い付かず/需要落ちてきた/資材不足や高騰など、夏季の製材流通が停滞する恐れ/受注順調も原料不足を懸念/建築材先行きよくない

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12
R3.9	-26	<i>-46</i>	<i>-44</i>	-	-	-
R3.12	-	-65	<i>-67</i>	<i>-73</i>	-	-
R4.3	-	-	-70	<i>-76</i>	<i>-72</i>	-
R4.6	-	-	-	-52	<i>-65</i>	<i>-71</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12
当年	175,588	132,958	148,710	-	-	-
(前年)	279,855	229,770	242,886	206,179	175,588	132,958
対前年比	63%	58%	61%	-	-	-

(概況)

原木在庫量は依然として前年を下回る状況。引き続き原木需要は旺盛であり、今後も原木不足が継続する見通し。

(回答企業の主なコメント)

地元の価格では合板向けに太刀打ちできず今後も不足/引き合いが強く、ラミナが作れない/原木不足は今後も継続/価格高騰のため入手できず/合板業界の受け入れが悪くなっており、今後を注視

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12
R3.9	76	<i>76</i>	<i>45</i>	-	-	-
R3.12	-	66	<i>48</i>	<i>26</i>	-	-
R4.3	-	-	42	<i>34</i>	<i>12</i>	-
R4.6	-	-	-	44	<i>29</i>	<i>0</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12
当年	253,036	227,047	212,331	-	-	-
(前年)	203,342	224,155	222,949	247,874	253,036	227,047
対前年比	124%	101%	95%	-	-	-

(概況)

原木消費量は前年並みの状況。引き続き製品受注は多いが、原木不足により十分な対応が困難との声が多い。

(回答企業の主なコメント)

年度内は流通良い見通し/注文は多いが原木不足/道内外合板向けの価格に追従できず、生産を減らすことも検討/製品価格に転嫁しきれていない/製品単価上昇による注文減を懸念

道内の木材需給の見通し（令和4年6月調査分）

—令和4年7月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

原木在庫・製品荷動き 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

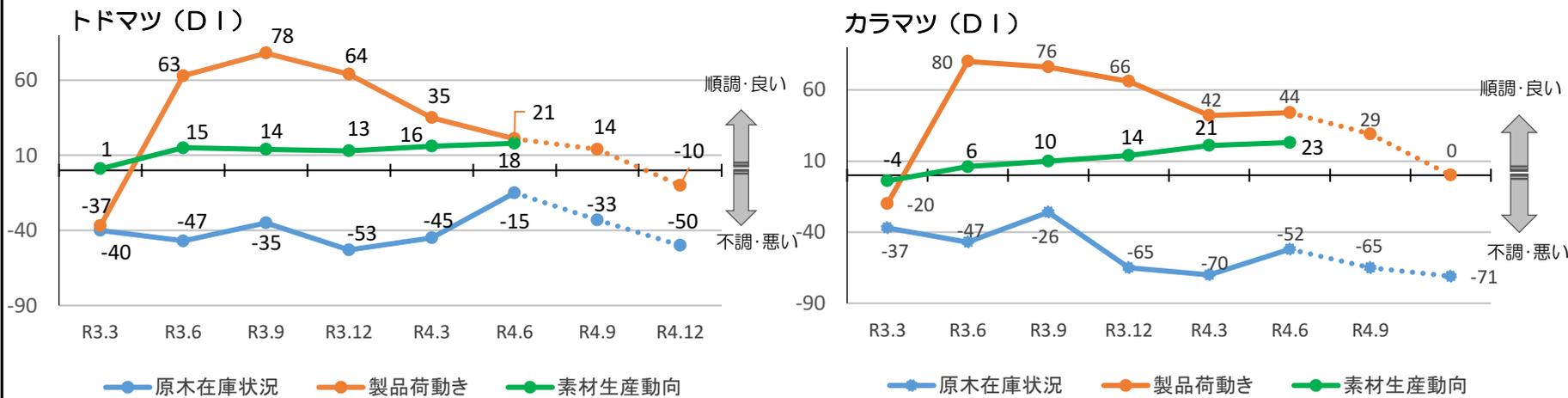
	《4~6月》	《7~12月見通し》		《凡例》
トドマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を上回っており、7月以降は前年を下回る見通し。	《原木在庫》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を上回り、7月以降も前年を若干上回る見通しも下降傾向。	
カラマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を大きく下回っており、7月以降も前年を大きく下回る見通し。	《製品荷動き》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を下回り、7月以降は前年を上回る見通しも下降傾向。	

素材生産動向 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

	《4~6月》	《7~12月見通し》		《凡例》
トドマツ			○素材生産動向は、「順調」40%、「並み」50%、「不調」10%となっており、順調の見通し。	《順調》 《並み》 《不調》
カラマツ			○素材生産動向は、「順調」48%、「並み」38%、「不調」14%となっており、順調の見通し。	

素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI
○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

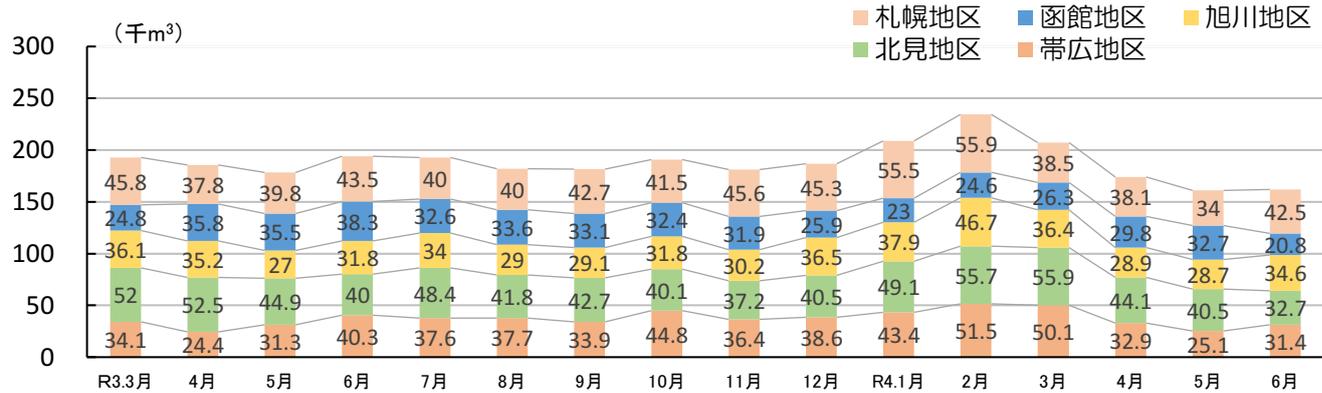


《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

素材生産量の推移

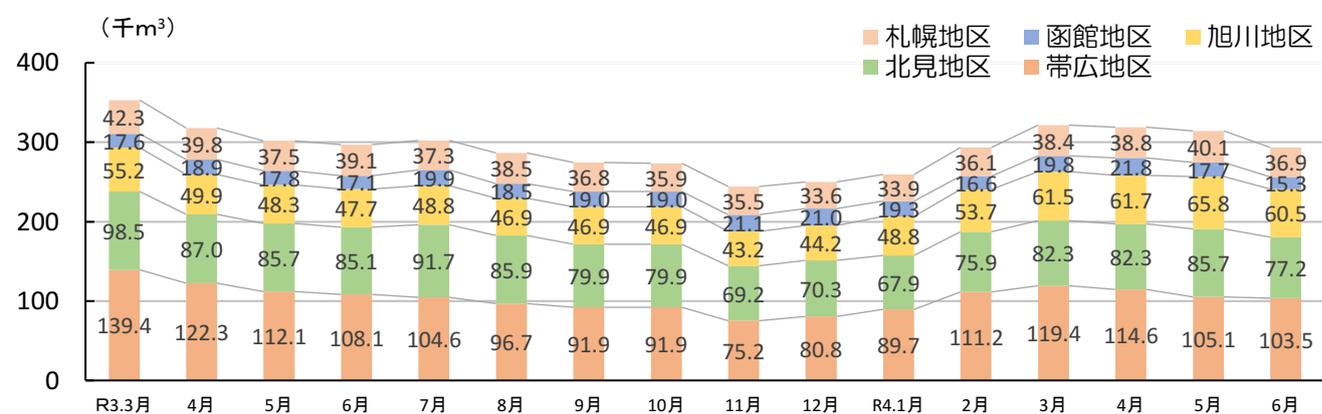
- 6月の素材生産量は前月比1.0km³増の162.0km³
- 7月は前月比10.5km³増の172.5km³の見通し
札幌、北見、帯広地区で増える見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

製材工場の原木在庫量の推移

- 6月のトドマツ原木在庫量は前年同月を上回り、原木消費量は前年同月と同等程度の見込み
- 6月のカラマツ原木在庫量は前年同月を下回り、原木消費量は前年同月を下回る見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR4.4~6月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI (地区別)

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

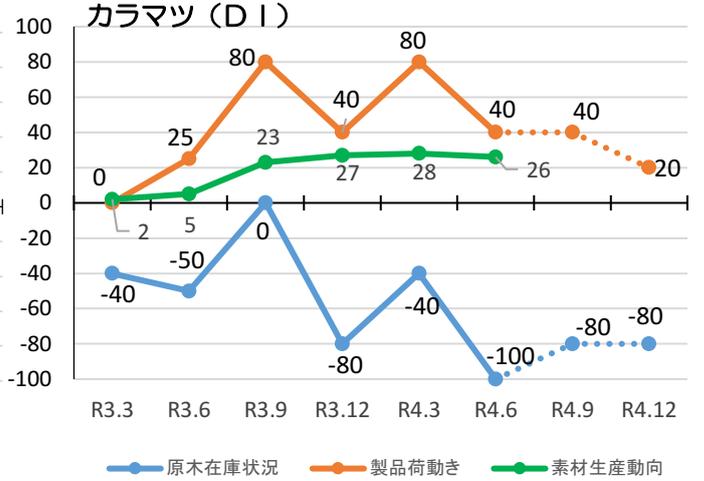
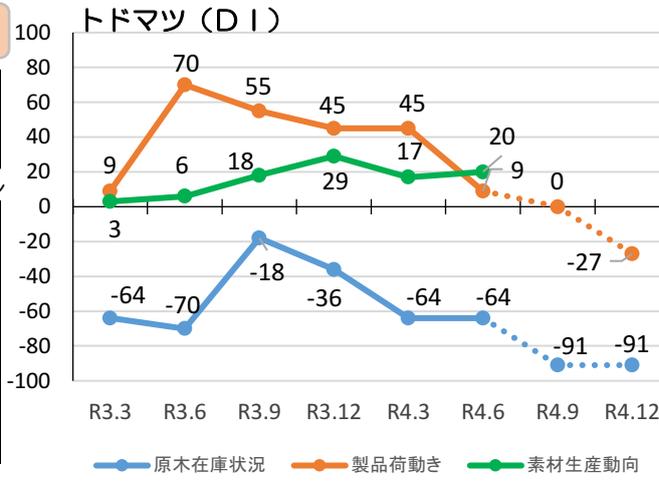
札幌地区 (石狩・空知・胆振・日高)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を若干下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回る見通し



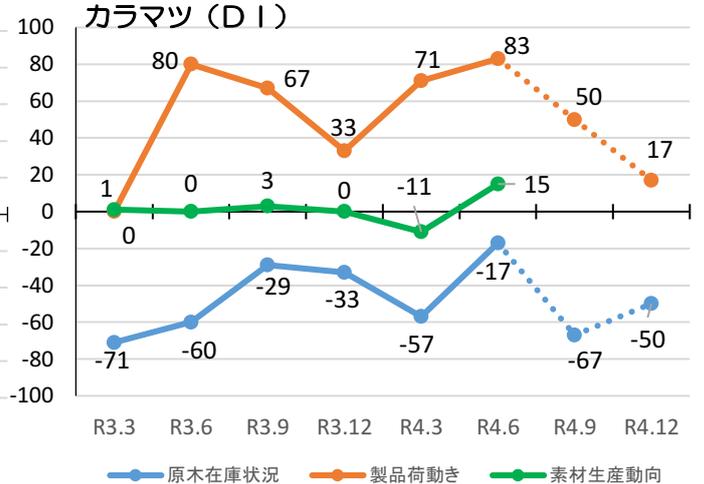
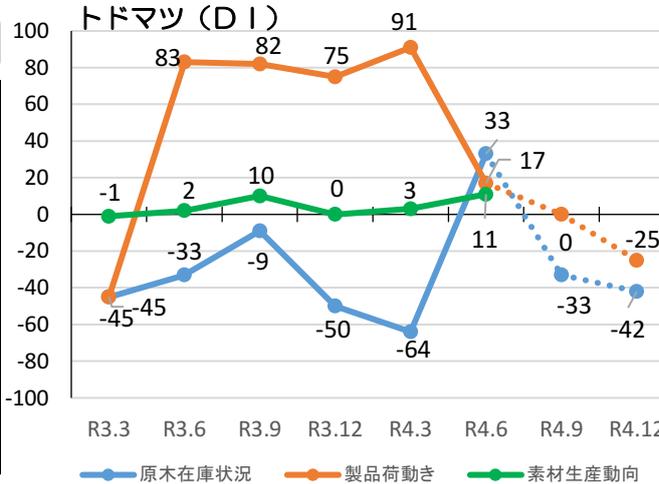
函館地区 (渡島・檜山・後志)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年並みの見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るも下降の見通し



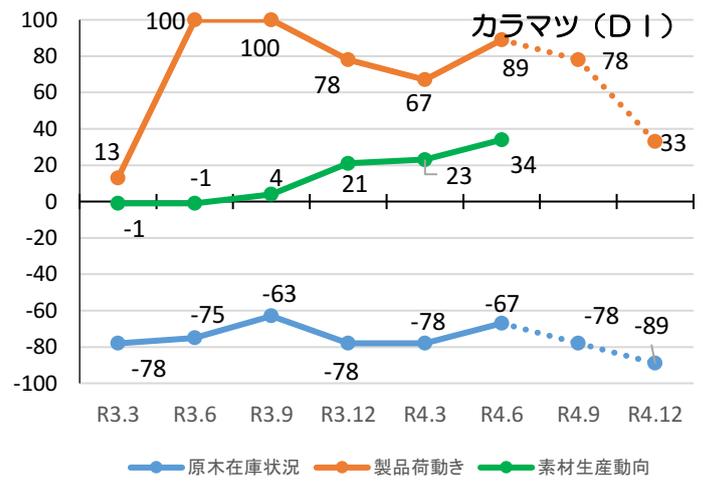
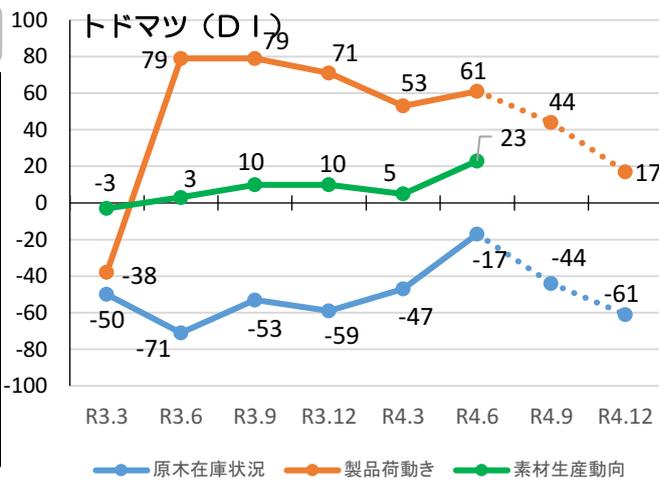
旭川地区 (上川・留萌・宗谷)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を上回るも下降の見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るも下降の見通し



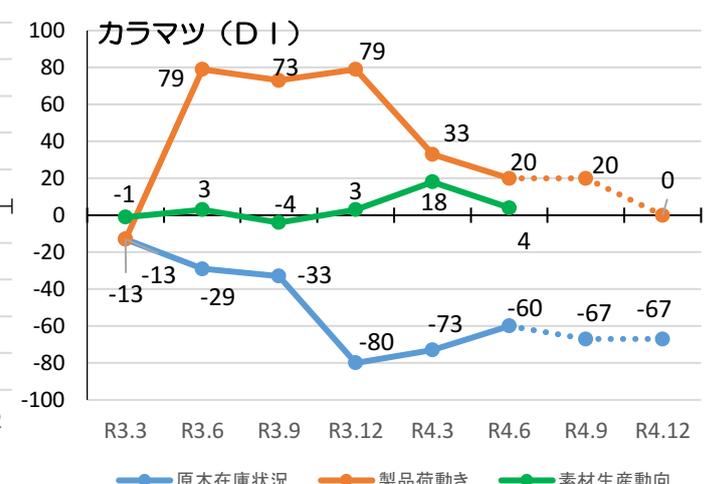
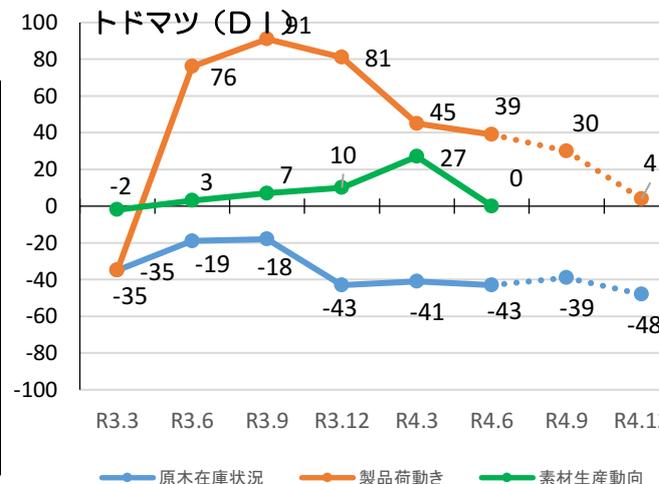
北見地区 (オホーツク)

【トドマツ】

- ・素材生産は、並みの見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を上回るも下降の見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、並みの見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回る見通し



帯広地区 (十勝・釧路・根室)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年並み、製品荷動きは前年を下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年並みも下降の見通し

